

小 3 年

高	時	三	年
山	内	な	歩
さ			
ん	は		
ほ	れ		
に			
行	大		
こ	す		
う	き		
	な		

滋賀県教育委員会教育長賞

山内 菜歩

すっきりとした線で、のびのびと書かれています。ひらがなのむすびがとてまじょうずに書きました。

小 3 年

長	は	ま	
三	年	矢	島
こ	の		
さ			
い	雨		
の	あ		
葉	が		
が	り		
光			
る	あ		
	じ		

滋賀県知事賞

矢島 心暖

一字一字の線の方向と間かくが見事にそろっています。線にのびやかさがあり、名前まででいねいに書けています。

小 2 年

し	ん	あ	や
二	年	石	田
し	ょ	う	た
よ			
く	友		
	だ		
あ	ち		
そ	と		
ぼ			
う	な		
	か		

滋賀県書道協会賞

石田 祥汰

さいごの名まえまで、ていねいに、すっきり書けています。

小 2 年

の			
ぼ	五		
り	月		
が	の		
お	空		
よ	に		
く	こ		
	い		
青	山	二	年
お	ば	た	こ
の	み		

滋賀県書道協会賞

小畑 このみ

ゆうゆうと空をおよぐこいのほりのようにのびやかに書けています。

小 3 年

あ	土		
三	年	い	とう
や	ま	き	歩
さ			
い	雨		
の	あ		
葉	が		
が	り		
光			
る	あ		
	じ		

滋賀県書道協会賞

伊藤 咲歩

はじめから名前まで、一字一字の形に気をつけて、気もちをこめて書いています。

小 3 年

馬	ぶ	ち	
三	年	お	か
村	る	い	
さ			
い	雨		
の	あ		
葉	が		
が	り		
光			
る	あ		
	じ		

滋賀県書道協会賞

岡村 琉衣

とめ、はね、はらいの区別がしっかりとできています。字の大小の組み合わせも見事です。

小 3 年

中	央	三	年
上	田	千	晴
に			
水	先		
あ	生		
そ	と		
び	い		
を	っ		
す	し		
る	よ		

滋賀県書道研究会賞

上田 千晴

ひらがなのそれぞれの美しい形をしっかりとおぼえて書けています。線もすっきりとうつくしいです。

小 3 年

と	き	わ	
三	年	な	し
ま	れ	い	
そ	草		
よ	木		
風	に		
が	水		
ふ	や		
く	り		
京	都	新	聞
賞			
菜	嶋		
伶			

京都新聞賞

菜嶋 伶

とくにたての線がまっすぐにすっきりと書かれていますので、さわやかさをかんじます。

小 4 年

草	つ	
四	年	
神	子	日
よ	花	
さ		
ん	夕	
歩	方	
に		
行	大	
く	す	
	き	
	な	

京 都 新 聞 賞

神 子 日 葉 花

直線的な漢字に合うひらがなの書きぶりが身についています。はらう線の最後まで気持ちがゆき届いています。

小 4 年

ふ	ぞ	
く	四	
年		
お	く	田
あ	や	の
白		
い	大	
ひ	空	
こ	の	
う	か	
き	な	
雲	た	
	に	

滋 賀 県 教 育 委 員 会 教 育 長 賞

奥 田 彩 乃

すっきりとした線で文字の中心もよくそろっています。漢字・かなの大きさも適切で見事な出来ばえです。

小 3 年

花		
火	湖	
が	上	
広	に	
が	は	
	大	
た	き	
	な	
玉	川	小
三	年	
澤	水	彩
葉		

滋 賀 県 書 道 協 会 賞

澤 水 彩 葉

漢字とひらがなのバランスがよく、中心をそろえて、とてもいい線がひかれています。

小 3 年

ほ		
	す	
春	み	
の	れ	
花		
	た	
	ん	
	ほ	
新	旭	北
三	年	
高	木	み
い	な	

滋 賀 県 書 道 協 会 賞

高 木 美 衣 菜

えんぴつをもった手が大きくのびやかにうごき、気もちのよい美しい線がひかれました。

小 4 年

旭	北	
四	年	
上	田	大
翔		
家	深	
族	ま	
で	り	
山	ゆ	
登	く	
り	秋	

滋 賀 県 書 道 協 会 賞

上 田 大 翔

漢字かなの交じる語句を、マス目の中心を見定め、的確にまとめたバランス感が見事です。

小 4 年

高	月	
四	年	
か	け	ひ
あ	か	里
ん		
歩	早	
に	お	
行	き	
	し	
た	て	
よ		
	さ	

滋 賀 県 書 道 協 会 賞

寛 朱 里

せんさいな線がおだやかで落ち着きのある印象を与えます。

小 4 年

赤		
や	秋	
黄	は	
に	木	
色	の	
づ	葉	
く	が	
し	ま	小
四	年	
中	村	輝
奈		

滋 賀 県 書 道 協 会 賞

中 村 輝 奈

文字の中心を貫く縦画が実に印象的な作品。背すじのしゃんとした堂々たる佳作です。

小 4 年

を		
暗	お	
記	じ	
し	は	
て	百	
い	人	
る	一	
	首	
上	田	
四	年	
野	口	七
歩		

滋 賀 県 書 道 協 会 賞

野 口 七 歩

一点一画を誠実・正確につみ重ねる姿勢はたいへんすばらしく立派です。

小 6 年

安土	川	く	夜
六年	の	星	空
干場	よ	の	を
優月	う	間	見
	に	を	上
	流		げ
	れ	白	る
	て	い	と
	行	雲	ま
	っ	が	た
	た	ま	た
		る	た
		で	

京 都 新 聞 賞

干 場 優 月

力みのない美しい線で書いています。文字の大小にも気を配り、すっきりとした作品に仕上げられています。

小 6 年

信	す	深	詩
楽	る	く	の
六	た	味	美
年	め	わ	し
岩	に	っ	さ
永	朗	た	お
み	読	り	も
の	は	人	し
り	大	に	ろ
	切	伝	さ
	で	え	を
	す	た	
		り	

草 津 市 教 育 委 員 会 賞

岩 永 み の り

のびやかな美しい線で書けています。最後まで自分のリズムで書ききり、すばらしい作品です。

小 6 年

立	み	み	あ
入	つ	つ	た
六	や	ば	た
年	花	ち	か
関	粉	が	い
岡	を	花	季
よ	集	を	節
つ	め	お	に
ば	ま	と	な
	す	ず	る
		れ	と
		て	

滋 賀 県 知 事 賞

関 岡 よ つ ば

のびやかな線で落ちついて書けています。線のかたむきをそろえた一貫した書きぶりが見事です。

小 5 年

マ	見		
南	上	新	
五	げ	た	
年	る	な	
水	青	気	
口	い	持	
菜	空	ち	
夏		で	

滋 賀 県 書 道 協 会 賞

水 口 菜 夏

ゆったりとした気分で伸びやかに書き、まとまりがあります。横画に反りを入れスケール大きく見える作品。

小 6 年

余	自	最
呉	覚	高
六	と	学
年	責	年
平	任	と
家	を	し
侑	持	て
奈	っ	

滋 賀 県 書 道 協 会 賞

平 家 侑 奈

線のかたむきや間かくをそろえ、安定した形で書きました。堂々とした見ごたえのある作品です。

小 6 年

愛	呼	川	鈴
知	び	の	鹿
川	穀	沿	連
東	倉	岸	峰
六	地	地	に
年	帯	域	源
本	を	は	を
荘	形	湖	発
い	成	東	す
ち	し	平	る
か	て	野	愛
	い	と	知
	る		

滋 賀 県 書 道 協 会 賞

本 荘 い ち か

画数の多い漢字が並ぶ多字数の文を一字一字着実に書きすすめています。安定した書きぶりが見事です。

小 6 年

瀬	万	最	
田	葉	古	の
六	集	の	歌
年	は	歌	集
瀧	日	集	で
野	本	て	新
稀	に	も	元
子	現	有	号
	存	名	「
	す	で	令
	る	あ	和
		る	」

滋 賀 県 書 道 協 会 長 賞

瀧 野 稀 子

漢字とひらがなのバランスがよく、線の長短にも気をつけ整った字形で書けています。

小 6 年

物	自		
部	然	の	
六	保	護	
年	は	地	
道	球	規	
木	ほ	て	
成	考	え	
美	な	く	
	て	は	
	な	ら	
	ら	な	
	い	。	
	国	を	

滋 賀 県 書 道 協 会 長 賞

道 木 成 美

確かな字形ときりりとした線質で書けています。中心もよく整い、すっきりとした作品となりました。

中 2 年

京都新聞賞
近藤 萌々菜

太陽に向かって咲く花、向日葵(ひまわり)。
美術界ではよく描かれるモチーフの一つで、ゴッホ
は向日葵の絵を十三枚描いている。
米原 乙年 近藤 萌々菜

文字の大小に配慮して、流れよく書
けています。行も通ってて美しい
です。

中 1 年

滋賀県書道協会賞
岩倉 美桜

太陽の熱 天体を観測
深い知識 豊かな自然
仰木 一年 岩倉 美桜

穏やかな書きぶりで丁寧に書けまし
た。最後まで気持ちを切らず、心
がこもっています。

中 1 年

京都新聞賞
松 環奈

君に出会えてよかった
切ないけれどよかった
ひとりの夜もそばにいてくれた
世界になったひとりの
君に出会えてよかった
思い出は夜の空星になりに輝くよ
ずと孤独だ、壊れた心の夜
夜に怯えた部屋でうずくま、た
シーツに顔をあて叫んだ
言葉にならなかつた
迷わず何もかも捨ててきた
はな私を愛してくれた
いつもそばにいてくれた
君さえいればそれでよかった
君に出会えてよかった
切ないけれどよかった
ひとりの夜もそばにいてくれた
世界になったひとりの
君に出会えてよかった
思い出は夜の空星になりに輝くよ
加藤 ミリヤ×清水翔太「Love Forever」
彦根南中1年 松 環奈

最初から最後まで、自分の調子で一
貫しててよくまとまっています。
余白も美しいです。

中 1 年

草津市教育委員会賞
平田 唯月

空蝉 夏雲雀 青葉木菟
黒南風 砂日傘 洪昼顔
彦根中一年 平田 唯月

すっきりとした美しい線で書けてい
ます。文字の中心を通し、字形も整っ
ています。

中 3 年

滋賀県書道協会賞
岩堂 壮佑

国境の長いトンネルを抜けると雪国で
あった。夜の底が白くなった。信号所に
汽車が止まった。川端康成「雪国」より
余呉 九年 岩堂 壮佑

やわらかな調子で、ゆったりと自分
らしく書けています。名前まで一貫
した行書で書きあげました。

中 3 年

京都新聞賞
西倉 舞

自立の精神 熱い意欲
豊かな知識 大きな夢
附属 三年 西倉 舞

一字一字の姿だけでなく、隣の行の
文字との関係にも気を配ってのびの
びと書けました。

中 3 年

滋賀県知事賞
村居 美里

発明の秘訣は不断の努力にある。(ニコトン)
心頭を滅却すれば火もまた涼し。(杜荀鶴)
注意を兄とし希望を守護神とせよ。(エジソン)
河瀬 中 3年 村居 美里

文字の大小をつけ、すっきり行を通
して書けています。楷書の美しい字
形で書ききった横書き作品です。

中 2 年

滋賀県書道研究会賞
高木 暖心

七夕や筆の穂をぬく唇の墨玉
葉の裏にひぐれの暗やかたつむり
マキノ 二年 高木 暖心

気脈が通り、自然な流れで書けてい
ます。行書に合った平仮名の姿がや
わらかです。

人間、失格。とはや、自分は、完全に人間で無くなりました。
 ……来たのは初夏の頃で、鉄の格子の窓から病院の庭の
 小さい池に紅い睡蓮の花が咲いているのが見えました。
 守山 一年 浅田真那

滋賀県書教育研究会長賞

浅田真那

行書のリズムが調子よく、縦への流れがスムーズで、最後まで貫けています。

上海は海に面して発展した街。上海料理といえは、様々な海の幸を使ったものが中心で、甘辛く濃い味の味付けである。
 瀬田工 一年 山村 光太郎

滋賀県書教育研究会長賞

山村 光太郎

縦横の張り方が伸びやかで、最後まで調子が整っています。名前もリズムカルです。

伝説 資源 幸福 運動
 意味 技術 新茶 高原
 彦根東 一年 田附咲良

京都新聞賞

田附咲良

のびのびと大きく動けて立派な行書です。二行共ゆったりとしたペンさばきでした。

蝶めつる 姫君の住みたまふかたけした、按察使の大納言のむすめ、心はく
 ち入てなうぬさまに、親ちちやつきたまふと限りなし、の姫君のたまふこ
 「人々の花、蝶やめつる」と、はおくあやでしけれ、人はまことあり、本地にたみたる
 こを心はへそ、かけし水、と、もつづの虫の、恐ろけなさを取り集めて、これが
 成るむすめを見む、と、たまふなる籠箱ともに入れさせたまふ、中にも、鳥手
 虫の心深きさまなる、心にくけれ、と、明け暮れは耳はなみさし、と、手のた
 まふ、まほりたまふ。 — 堤中納言物語より — 木原葉乃

滋賀県教育委員会教育長賞

木原葉乃

各行共、上下に貫かれた一貫性が、あざやかです。漢字も上手ですが、ひらがなの連綿もさえています。

ある時ある場所で起った事實は、二度と同じ形できりかえされる、とがない、だが、真実は時や場所にかかわらず、人間が生きているかぎり存在する。
 彦根東高校 近藤 菜々美

滋賀県書教育研究会長賞

近藤 菜々美

行書文を安定させて書き上げて見事です。筆圧、筆速が整い美しい線です。

長風萬里送秋雁
 秋の日、雁はけるか彼方へと吹く風に乗って飛び、私はそれを見送っている。
 守山 一年 青山 咲稀

滋賀県書教育研究会長賞

青山 咲稀

漢詩の一部を楷書体で丁寧に書き、書き下し文をバランス良く紙面に収めています。

作品を書くという、とは、ただ筆をもって書けるものではない、
 ません。何か感動をあるものから受けて、その影響で自分の心が動きたし、書きたいと思ふ幻影が頭の中に作りだされます。出来上がった書の姿がはつきりとした形でないまでも見えてくるわけです。つまり、東大津高一年杉江亜寿

滋賀県書教育研究会長賞

杉江 亜寿

楷書体で、五行を一貫した書きぶりで統一できました。あざやかな作品です。

雷鳥 雪溪 峰雲 青嶺
 夏野 駒草 緑陰 夕焼
 堅田 一年 吉田 絵理

滋賀県書教育研究会長賞

吉田 絵理

二行の楷書をねばり強く、静かな調子で書けています。とてもすっきりした仕上がりに。

立夏 新緑 牡丹 若葉
 木苺 麦刈 更衣 桔梗

玉川 高 一 年 掛村 美 優

滋賀県書道協会賞

掛村 美 優

きれいに整った筆圧で、名前まで一貫して書けています。のびやかなゆったりした作品に仕上がっています。

つれづれなるままだに、日暮り、硯にむかひて、心に
 うらやみしな事そそはかたなく書き
 つればあやうこそものぐるほけけれ。

長浜北高 一 年 松井 香里奈

滋賀県書道協会賞

松井 香里奈

行書に合うひらがなの文字の大きさを心得、連綿を入れて、美しい作品に書き上げています。

「少年よ大志を抱け」とは、クラーク博士が残された
 有名なとぼです。その後、どれだけ多くの少年少女たちが
 このとぼに励まされ、一生懸命勉強したことでしょ？

守山高校 一 年 青山 充歩

滋賀県書道協会賞

青山 充歩

快いリズムで行書文を一貫して書き上げています。漢字の行書体のバランスもとてもきれいです。

寒さにふるえた者ほど太陽の暖かさを
 感じる。人生の悩みをくぐった者ほど
 生命の尊さを知る。 ホイットマン

膳所 一 年 西原 陸

滋賀県書道協会賞

西原 陸

ペンの青色と紙面のバランスとがよく合い、清々しい作品です。行の中心も通り美しく仕上げられています。

行く春を近江の人と惜しみけり 芭蕉
 湖へ富士をもとすや五月雨 蓼村
 夜しすがら秋風さくや裏の山 曾良

八高 二 年 杉村 綾 香

滋賀県教育委員会教育長賞

杉村 綾 香

軽く柔らかなタッチでゆったりと美しく書くことができています。文字の大小の変化も自然で完成度の高い秀作。

俺は殺されることか 嫌ひだから
 人殺しに反対する、従って
 戦争に反対する、
 自分の殺されることの好きな人間、
 自分の愛するもの、
 殺されることの好きな人間、
 かい人間の戦争を
 讚美することが出来る。
 その他の人間は戦争に反対する。
 他人は殺されてもいと云ふ人間は
 自分は殺されてもいと云ふ人間だ。
 人間が人間を殺していと云ふことは
 決してあり得ない。
 だから自分は戦争に反対する。
 戦争はよくないものだ。
 このことを本当に知らないものよ、
 お前は戦争で 殺されることと
 甘愛出来るか、
 想像力がわいものよ。戦争は
 よしなくなるものにせよ、
 俺は戦争に反対する。
 寒鴉の詩 伊吹高 一 年 日比野 ゆめ

滋賀県書道協会賞

日比野 ゆめ

横書きのリズムを終始一貫させ、最後まで整って書けています。文節も上手く切り、紙面もきれいな作品です。

知恵子は東京には空がないと、ふ、ほんとの空が見たい
 と、ふ、私は驚き空を見る。桜若葉の間にあるのは
 切っても切れない、むかしのきれいな空だ。どんよりけむる
 地平のぼかしはうすもも色の朝のしめりだ。知恵子は
 遠くを見ながら言ふ。八日市高校 一 年 小林 紗来

滋賀県書道協会賞

小林 紗来

行書に取り組み、ゆっくりと一字一字を丁寧に書き上げています。行書に合うひらがなもきれいに書けています。

行動 訓練 花形 銀河
 校門 入梅 砂場 神技

比叡 一 年 川崎 玲央奈

滋賀県書道協会賞

川崎 玲央奈

行書体の形を良く学び、文字の中心が通り、バランスが良いです。払いの線がとてものびやかできれいです。

高 2 年

流れる季節の真ん中で
ふと日の長さを感じます
せわし過ぎる日々の中に
私とあなたで夢を描く

3月の風に想いをのせて
桜のつぼみは春とつがいます

溢れ出す光の粒が
少しずつ朝を暖めます
大きなあくびをした後に
少し照れているあなたの横で

新たな世界の入り口に立ち
気がたつことは人ばかりのこと

瞳を閉じればあなたが
おふたの裏にいてことで
どれほど強くなれたでしょう
あなたにして私探うていたい

ミオロン「3月9日より」
彦根総合高2年 岩田 菜由

滋賀県書道協会賞

岩田 菜由

構造的な漢字の楷書体に合った平仮名の字形についてしっかりと学び身につけていることが伺える作品です。

高 2 年

菓立 春光 花時 山吹
菓立 春光 花時 山吹
石山 二年 田島 実乃里

滋賀県書教育研究会賞

田島 実乃里

楷書と行書の特徴をよく理解し、しっかりと書き分けながら統一感のある書きぶりに作者の力量を感じます。

高 2 年

読書百遍、意おのずから通ず (魏略)
他人は自分の心を映す鏡である (エマソン)
沈黙は無意味な言葉に優る (ビタコラス)
長浜北高 二年 谷田佳穂

滋賀県書教育研究会賞

谷田 佳穂

行書の書法をよく身につけ、すっきりとした書きぶりで爽やかな作。字形も安定しています。

高 2 年

やまとつたは、人のこころをたねごとく、よろづのこころのほとぞ
なれりける。世の中にある人ことわざ一げきものなれば心に
おもふことと、見るものさくものにつけていひひたせるなり。
花になくうくひす、水にすむかはづのこえをさげばいきとし
いけるもの、いづれかうたをよまざるける。北 智、成

京 都 新 聞 賞

北 智 成

仮名の学習を活かし、ほとんどが平仮名という難しい題材を流麗にまとめ上げ見事。

高 3 年

望空を眺めてきました。1609年、411丁の物理屋学者カサハライ
が自作の望遠鏡で初めて天体を観測し、肉眼では見えな
かった多くの現象を発見しました。石部3年 三浦春舞

草津市教育委員会教育賞

三浦 春舞

安定した筆圧で書き切り見事です。漢字・平仮名・カタカナ・数字の字形や大きさに気を配り、行間もきれいです。

高 3 年

遠く空の星が
ひとく輝いて見えたから
僕は震えながら
その光を道いかけた
割れた鏡の中
いつかの自分を見つめてた
強くなれたか、た何もうかづか
君は風に吹かれて
翻る帽子見上げ
長く短い旅をゆく遠い日の面影
君が望むなり
それは 強く抱えてくれるた
今は全てに恐れぬ
痛みを知る た一人であれ
君の手が解かれた
それは 引き合う孤独の力なら
誰かとして奮えるたか
求めあえる 命果てるまで
微笑か笑え 希望のように
痛みを知る た一人であれ
米津玄師 Milet 伊吹高3年 山本晴菜

滋賀県知事賞

山本 晴菜

歌詞をリズム良く書き上げています。ランダムに空けた左右の余白が生きています。

高 2 年

アイヌ民族を法律として先住民族と明記し、独自の文化を生かした地域振興策のための交付金制度などを盛り込んだ「アイヌ施策推進法」が二〇一九年五月二十四日に施行された。「アイヌの人々が民族の誇りを持って生活でき、その誇りが尊重される社会の実現を図る」ことを目的に掲げている。これを受けて政府は、国有林での樹木採取や川でのサケ漁などアイヌの独自文化が継承されるように基本方針を決定した。伊吹高校 二年 川村 麗

滋賀県書道協会賞

川村 麗

多字数の題材を倦むことなく、丁寧に一貫した呼吸で書き抜き見事な努力作です。

高 2 年

一挙兩得 印鑑 回廊
美辞麗句 旧家 縮小
立命館守山高校二年 前川 空穂

滋賀県書道協会賞

前川 空穂

直線的ですっきりとした線で横画平行、等間隔の原則に従ってしっかりと書けています。

